

**地方創生に係る交付金 実績報告書**  
地方創生推進交付金

**資料 4**

事業名称	行田版DMOを核とした持続可能な地域形成プロジェクト			事業年度	令和元年度～令和3年度
総事業費	206,095,026	うち国庫補助金額	103,047,510	補助率	1/2

事業の背景・概要	<p>行田市では、ここ10年で生産年齢人口が約16%、年少人口が約20%減少している一方、高齢者人口は約37%増加しており、少子高齢化が進行している。また、総人口についても2006年から約7,300人減少しており、まちの活力維持に影響を及ぼしている。このような中で、まちの活力を維持・向上させていくために、若者をはじめとする多くの人を域外から呼び込むことが必要である。</p> <p>そこで、地方創生推進交付金を活用した本プロジェクトを立ち上げ、多様な事業者との連携のもとに新たに観光DMOを設立し、既存コンテンツの充実強化や新規コンテンツの開発を図ることで、消費の受け皿の拡大を促していく。さらに、マーケティングに基づいた観光戦略のもと、情報発信・プロモーションを強化し、陸王以降伸び悩んでいる観光客数の増加を図り、観光地としての位置を構築していく。</p>
----------	--

実施完了事業の概要

年度	実施内容	事業費	交付金充当額
令和元年度	<p>令和2年度中に機能的な観光DMOを設立するため、組織のビジョンや骨格の策定等の各種準備を実施した。また、併せて観光コンテンツの開発・強化や国内外への情報発信及び体制整備を図った。</p> <p>●行田版DMOの形成・確立事業 ・専門人材による設立支援 ・観光データ収集・調査 ・DMO事務所整備設計 他</p> <p>●観光コンテンツの開発・強化事業 ・体験・交流型コンテンツ開発・強化 ・通年型イベント開発・強化 ・新たなグルメお土産開発 ・甲冑隊によるおもてなし活動 ・特産品等販売・体験拠点整備設計 他</p> <p>●情報発信・プロモーション強化事業 ・海外向け情報発信 ・ラグビーWC開催に伴う市内誘客 ・観光アプリ多言語化 他</p>	54,757,531	27,378,763
令和2年度	<p>行田版DMOの形成・確立事業では、新たな観光振興組織である「一般社団法人行田おもてなし観光局」を設立し観光庁の候補DMOの認定を受けるなど、体制整備を着実に推進した。</p> <p>観光コンテンツの開発・強化事業では、令和元年度からの継続事業に加え、新たに「花手水」の取組を進め、継続的な集客を図った。</p> <p>情報発信・プロモーション強化事業では、鉄道の車内広告掲載など、観光地として積極的なプロモーションを行った。</p> <p>●行田版DMOの形成・確立事業 ・専門人材による設立支援 ・観光データ収集・調査 ・DMO事務所整備工事 他</p> <p>●観光コンテンツの開発・強化事業 ・体験・交流型コンテンツ開発・強化 ・フラワーアートのライトアップ ・通年型イベント開発・強化 ・新たなグルメ・お土産開発 ・甲冑隊によるおもてなし活動 ・特産品等販売・体験拠点整備工事 他</p> <p>●情報発信・プロモーション強化事業 ・鉄道への車内広告掲載 ・観光資源の新聞広告掲載 ・花手水パンフレット作成 他</p>	85,371,071	42,685,535
令和3年度	<p>行田版DMOの形成・確立事業では、観光局スタッフやガイドを対象とした研修や観光まちづくりの基礎となるデータ収集・調査の実施、さらには情報発信の基盤となるホームページの多言語化等を図り、体制を整備した。</p> <p>観光コンテンツの開発・強化事業では、本市観光の目玉となりつつある「行田花手水」の磨き上げや新たに月に1度のライトアップイベントを実施する等、コロナ禍においても安定的な集客を図った。</p> <p>情報発信・プロモーション強化事業では、行田花手水を素材としたPR動画を作成し、アルタビジョンやJRTレインチャンネルにて放映する等、観光地として積極的なプロモーションを行った。</p> <p>こうした一連の取り組みが評価され、令和4年3月28日付で観光庁より単独市町村を単位とする「地域DMO」としては埼玉県内で初の登録DMOに認定された。</p> <p>●行田版DMOの形成・確立事業 ・専門人材の雇用 ・DMO人材育成 ・観光関連事業者研修 ・観光データ収集・調査 ・HP充実・強化 他</p> <p>●観光コンテンツの開発・強化 ・行田「花手水」強化 ・通年型イベント開発・強化 ・甲冑隊によるおもてなし活動 ・足袋のブランド力向上 ・新たなグルメ・お土産開発 他</p> <p>●情報発信・プロモーション強化事業 ・行田花手水PR動画作成 ・デジタルサイネージ放映 ・各種パンフレット作成 他</p>	65,966,424	32,983,212
合 計		206,095,026	103,047,510

重要業績評価指標 (KPI)

指標の名称	分類	事業開始前(平成31年1月)	1年目(令和2年3月)	2年目(令和3年3月)	3年目(令和4年3月)
市内観光入込客数	目標値	—	1,550,758人	1,670,758人	1,910,758人
	実績値	1,418,255人	1,294,769人	613,385人	1,239,631人(※暦年)
観光公式HP閲覧件数	目標値	—	480,211回	500,211回	540,211回
	実績値	460,211回	377,733回	976,246回	1,653,327回
特産品等販売拠点の売上額	目標値	—	12,000,000円	12,000,000円	14,000,000円
	実績値	12,000,000円	9,465,107円	8,103,220円	41,884,528円
行田版DMOが造成した着地型旅行商品等の売上額	目標値	—	0円	1,000,000円	6,000,000円
	実績値	0円	0円	0円	0円

補助期間終了後(令和4年度以降)の取組み

今後の事業展開方針
<p>第6次行田市総合振興計画及び第2期行田市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる将来のまちの姿やKPIを実現するため、引き続き市と観光局の役割分担を徹底し、効果的・効率的に必要な施策を展開していく。具体的には、行田花手水weekやライトアップイベント「希望の光」等の観光コンテンツをより一層磨き上げ、観光地としてのブランド形成と本市への集客を図る。また、(仮称)さきたま広場の整備や市内事業者等と連携した商品開発を通じて、受入態勢整備を行い、観光による経済の活性化を図っていく。</p>
令和4年度の実施予定事業等
<ul style="list-style-type: none"> <li>●受入態勢整備事業</li> <li>・(仮称)さきたま広場整備 ・観光案内所管理運営 他</li> <li>●コンテンツ開発・強化事業</li> <li>・花手水・ライトアップ強化 ・新商品開発強化 他</li> <li>●プロモーション事業</li> <li>・団体旅行誘致促進 ・各種媒体作成・掲載 他</li> <li>●その他</li> <li>・物産振興事業 ・着地型旅行事業 ・レンタサイクル事業 他</li> </ul>

【設立年月日】令和3年1月27日

【許認可・資格】

- 登録DMO ※観光庁による観光地域づくり法人制度
- 地域限定旅行業
- 一般酒類小売業免許

【設立目的】

- 官民一体となって行田ブランド形成に向けた諸事業に専門的・戦略的に取り組む
- 観光関連産業の振興と交流人口の拡大による地域経済の活性化、ひいては持続可能な地域の実現を図る

【令和4年度主な事業】

○受入態勢整備事業

・（仮称）さきたま市場整備事業

- 令和5年4月1日オープン予定



・観光案内所管理運営事業

- 忍城バスターミナル観光案内所  
及びJR行田駅前観光案内所



○コンテンツ開発・強化事業

・花手水・ライトアップ強化事業

- 花手水weekは毎月2週間開催
- ライトアップは月1回開催



・新商品開発強化事業

- パッケージ等改良事業又はロゴマーク開発事業への支援



○プロモーション事業

・団体旅行誘致促進事業

- 観光客1人当たり2,000円、13,000名分を見込む



・各種媒体作成・掲載事業

- 公式ホームページやSNS運営、各種パンフレット作成等

